

世界に伝えたい縄文文化

◆日本が誇る縄文文化がここにある

今から約1万5千年前、氷河期が終わるとともに日本列島で始まった縄文文化は、人々が狩猟・漁労・採集により定住生活を送り、自然とともに生き、様々な環境の変化に適応しながら一万年以上も続いた世界でも珍しい文化です。

三内丸山遺跡をはじめとする、北海道、青森県、秋田県、岩手県の17資産からなる「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、縄文文化の素晴らしさを伝える顕著な普遍的価値を持つ遺跡として、世界文化遺産登録を目指しています。



特別史跡三内丸山遺跡(青森市)

◆世界遺産は、人類共通の「宝もの」

世界遺産とは、人類の歴史を伝える遺跡や建物、貴重な自然など、後世に残していくべき人類共通の宝です。過去から受け継いだかけがえのない宝を世界で守るため、ユネスコにより「世界遺産条約」(正式名称「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」)が1972年に定められました。この条約に基づき登録されたものが「世界遺産」となります。

世界遺産登録には厳しい審査があります。顕著な普遍的価値を証明できること、

将来にわたり守られる仕組みが整っていること、などの要件を満たさなくてはなりません。そして登録後も、その国や地域は、それらの遺産を大切に守り、未来へ引き継いでいくことが求められます。



◆世界遺産の種類

文化遺産

価値の高い遺跡や建造物、文化的景観など。

<世界>

- ストーンヘンジ、エーヴベリーと関連する遺跡群(イギリス)
- ナスカとバルバの地上絵(ペルー)
- 万里の長城(中国)など

<日本>

- 法隆寺地域の仏教建造物(奈良県)
- 富士山―信仰の対象と芸術の源泉(山梨県、静岡県) など



ストーンヘンジ(イギリス)

自然遺産

特に価値が高いとされる地形や自然風景、生態系、絶滅の心配がある生物のいる場所。

<世界>

- グランド・キャニオン国立公園(アメリカ)
- グレート・バリア・リーフ(オーストラリア)
- バイカル湖(ロシア) など

<日本>

- 白神山地(青森県、秋田県)
- 屋久島(鹿児島県)
- 知床(北海道)



グランド・キャニオン国立公園(アメリカ)

複合遺産

文化遺産と自然遺産の両方の価値を持っているもの。

<世界>

- マチュ・ピチュの歴史保護区(ペルー)
- ギョレメ国立公園とカッパドキアの岩窟群(トルコ)
- ウルル・カタ・ジュタ国立公園(エアーズロック)(オーストラリア) など

<日本>

登録なし



マチュ・ピチュの歴史保護区(ペルー)